



インタビュー



上野会長

ふるさとづくり推進協議会

今年の花火大会の開催にあたっては、各地で花火大会などのイベントが自粛される傾向がある中で、東日本大震災の被災地である浦安で開催するのかといった意見がありました。しかし、花火大会の主催団体である「ふるさとづくり推進協議会」の会議で、できるだけ費用を抑えた形で、このようなときだからこそ「復興へ向けて進んで行こう」というメッセージを込めて開催することが必要だと、満場一致で了承されました。

今年の花火大会は例年のような「納涼」の花火大会ではありません。特別な花火大会になります。震災に

ふるさと・浦安の復興を願って

よって疲れてしまった市民の心を癒せるような、これから復興へ向けてがんばろうという気持ちを引き出せるような花火大会にしたいと思っています。

今回は、市民の皆さんやほかの地域の被災者のための特別な観覧会場を用意しています。市民の皆さん、ぜひ花火を見に来てください。



震災復興祈念のぼり旗

今年の花火大会では、市内小・中学校の児童・生徒が作った震災復興祈念のぼり旗約200枚を会場に掲げます。花火大会へおいでの際には、こどもたちの復興への願いが込められたのぼり旗をご覧ください。

行政情報番組「こちら浦安情報局」では、「花火大会に向けて」をお送りするよ。ふるさとづくり推進協議会の上野会長に花火大会への思いなどをお話いただき、宗家花火鍵屋15代目の天野安喜子さんに今回の花火大会の見どころなどを伺ったよ。また、明海中学校の生徒がのぼり旗を制作している様子も紹介するよ。詳しくは、4ページを見てね！



特別観覧会場

市民または東日本大震災により被災し、避難している方を優先的に案内します。

自転車駐車場

日の出小学校校庭、日の出中学校校庭、総合公園駐車場

※会場周辺への自転車などの乗り入れはできません

送迎バス

東西線浦安駅付近（下図参照）と京葉線新浦安駅ロータリーから花火会場臨時バス停（左図参照）まで、無料送迎バスを運行します。各駅から会場（臨時バス停）行きのバスは午後5時～8時、会場からの帰りのバスは午後8時30分～10時に運行します

